

登場人物の心情の把握 (1)通過率 52.4%
(2)通過率 19.4%

	解答類型	割合 (%)
(1)	○ (最初) いっそ二 (最後) かったか	52.4
	× 最初は「いっそ二」と解答しているが、最後は「かったか」と解答していないもの	7.8
	× 最初は「いっそ二」と解答していないが、最後は「かったか」と解答しているもの	1.1
	× 上記以外の解答	26.2
	- 無解答	12.4
(2)	○ (例) これから先の人生を前向きに生きていこう	19.4
	× 前向きな気持ちを表す言葉が含まれていない内容となっている。	9.9
	× 坂道に関係すること限定される内容となっている。	2.9
	× 後に続く形になっていない。	2.5
	× 上記以外の解答	46.9
	- 無解答	18.3

(2) []には、少女がどのようなことを考えていたかを表す言葉が入ります。あとの文に続くように、十字以上、二十字以内で書きなさい。

(1) 「[]」に当てはまる最も適切な言葉を、文章中から二十三字で抜き出して、最初と最後の四字ずつを書きなさい。

小林 「この文章では、少女の気持ちが大きく変化しているね。」
 田中 「そうだね。その変化は少女の歩く姿に表れているよね。『重い足どりで坂をくだっていた少女が、『きゅうにしゃんと背をのびして』歩きはじめています。でも、どうしてそんなに変化したのかな。」
 小林 「変化のきっかけは、子どもが歩こうとする姿を見たことだね。」
 田中 「子どもが坂道をのぼろうとしている姿を見て、少女は自分自身のことを見つめ直したんじゃないかな。それまで少女は、『]と考えていたけど、元気を出して登校しようという思いになったんだと思うよ。」
 小林 「そのあとに『自分の目のまえに、長い長い坂を見ていた』という表現や『その坂を一步一歩たどってゆく』という表現があるから、考えたのは学校生活のことだけではないかもしれないよ。もしかしたら少女は、[]ということまで考えていたかもしれないね。」

杉みき子 「小さな町の風景」

象徴性の高い叙述に着目

まず全体像を捉える読みを！

(1) の上記以外の解答を見ると、本文中の少女の思いや考えを表す叙述は捉えているものの、23字で抜き出すという条件を満たせていないものが多かった。誤答の7.8%である「最初は『いっそ二』と解答しているが、最後は『かったか』と解答していないもの」もこれにあたる。
 (2) の上記以外の解答を見ると、子供の将来のことや自分が母親になった時のことなどといった他の登場人物に着目したものや、物語の最後の辺りの印象的な叙述を抜き出しただけのものが見られた。
 二人の生徒の会話文に「少女の気持ちが大きく変化している」とあるが、まず物語全体を通しての登場人物の心情の変化を捉えさせることが大切である。直接的な心情を表す叙述に加え、「青い空」「長い長い坂」「足」などの象徴性のある叙述と関連付けながら、少女の前向きな心情をより深く捉えさせる必要がある。

内容の系統

第1学年 読むこと ウ
 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

第2学年 読むこと イ
 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

第3学年 読むこと イ
 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

提案 作品全体の展開や全体を通しての登場人物の変容を捉えさせた上で、心情を表す象徴性や暗示性の高い叙述について話し合わせましょう。

登場人物の心情を捉えさせるには、まず作品全体の時間的、空間的な場面の展開や登場人物の変容などを大まかに捉えさせておくことが大切です。その上で、心情を表す象徴性や暗示性の高い叙述に着目させ、そこから考えられる心情について、問題文に示している生徒の会話のように、根拠となる叙述を明確にして話し合いながら自分の考えを筋道立ててまとめる活動を仕組みましょう。そうすることで、生徒は、登場人物の心情の変化を叙述を基に的確に捉え、深い感動や理解を得られるようになります。